

令和元年度医師確保対策 : 合計 526,334千円 (対前年度当初比: 103.4% H30:509,073千円)
 ・医師確保対策費 : 375,190千円 (対前年度当初比: 104.3% H30:359,797千円)
 ・地域医療支援対策費: 151,144千円 (対前年度当初比: 101.3% H30:149,276千円)

基本方針

- 山形県地域医療支援センターのもと、県全体の医師確保対策のほか、地域の医師確保対策及び勤務医の環境改善への重点化を図り、県内の医師確保・定着を効果的に推進する。

現状と課題

- ① 医療現場における深刻な医師不足
 - 県全体の医師数は着実に増加しているものの依然として全国平均を下回る。
◇人口10万人あたり医師数
山形県 H26:230.4人 ⇒ H28:233.3人 (全国29位) (全国33位)
全国平均 H26:244.9人 ⇒ H28:251.7人
 - 地域格差及び専門医の不足
特に地域の中小規模病院での医師不足や専門医の不足が深刻
◇二次医療圏ごと人口10万人あたり医師数(H28)
村山 287.0人
最上 137.5人
置賜 180.1人
庄内 194.1人
村山と最上の差 ⇒ 2.08倍
- ② 学生の県内定着率が低い
 - 平成16年度からの臨床研修制度導入により臨床研修医が流動化
◇県内病院のマッチ率
H30:65.5% H29:59.6% H28:67.5%

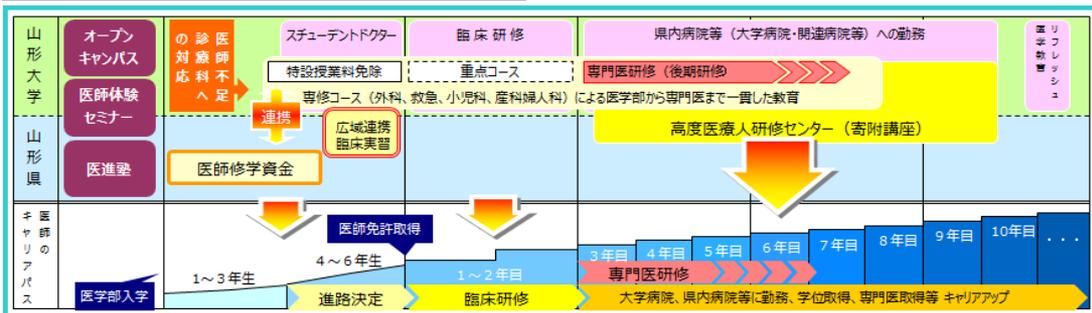
対応の方向

- 県全体の医師確保対策
⇒「山形方式・医学生涯サポートプログラム」を中心に、山大医学部や県内研修病院等の関係機関と連携しながら、臨床研修医や専攻医の確保・県内定着に向けた施策を総合的に推進する。
- 地域の医師確保対策
⇒自治医科大卒医師や修学資金貸与医師の長期的な県内定着に資する施策、各地域の実情を反映した医師確保対策に、地域と連携しながら取り組む。
- 勤務医の環境改善
⇒勤務医が安心して働き続けることができるよう、勤務環境の整備を推進する。

施策の展開

- ＜地域医療対策協議会＞【新規】
- ・県内における医師派遣等の協議を行う
 - ・医師確保計画の策定
- ＜地域医療支援センターの運営＞
- ・山大医学部等と連携して運営することにより、医師確保対策や医師のキャリア形成支援等を総合的に実施
- ① 県全体の医師確保対策の強化
 - 山大医学部との連携(サポートプログラムの推進)
 - ・山大医学部寄附講座の設置
 - 医師修学資金貸付事業
 - ・新規貸与29人
 - 研修医確保対策事業
 - ・各種ガイダンスの開催、全国規模のイベントへの参加
 - ・臨床研修医合同研修会の開催
 - 指導医確保対策事業
 - ・臨床研修指導医及び総合診療指導医の養成
 - 定年退職医師活用事業【新規】
 - ・定年退職医師の再就職促進
 - ② 地域の医師確保対策の強化
 - 地域医療の支援
 - ・自治医大卒医師、修学資金貸与医師の効率的な配置等
 - ・へき地医療拠点病院の機能強化
 - ・ドクターバンク事業
 - 将来のキャリアパスに配慮した医師配置
 - ・自治医大卒医師、修学資金貸与医師との意見交換
 - ③ 勤務医の環境改善
 - 女性医師サポート事業
 - ・女性医師支援ステーションの運営
 - ・女性医師就業環境改善事業
 - 産科医等確保支援事業
 - ・分娩手当を支給している医療機関への支援

役割分担



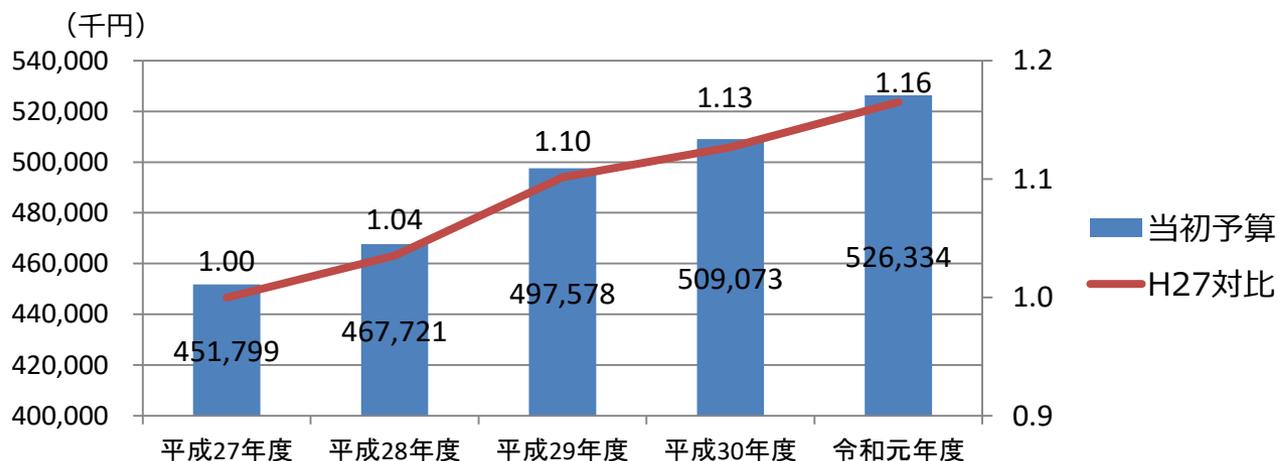
達成目標

- 臨床研修医マッチング者: H30:76人 ⇒ R1:前年度以上
- 地域医療機関への適正な医師配置による地域医療の確保

山形県医師確保対策の概要

医師確保対策に係る予算額の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
当初予算額(千円)	451,799	467,721	497,578	509,073	526,334
平成27年度当初予算額を1.0とした場合	1.00	1.04	1.10	1.13	1.16



各ステージにおける主な事業

ステージ	高校生	医学生	臨床研修医	指導医・勤務医	定年退職医師
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師体験セミナー ・医進塾 (教育委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師修学資金貸付 ・研修病院ガイダンス ・初期レジナビ ・ウェルカム山形推進事業 (県外医学部進学者Uターン事業) ・地域医療実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修医合同研修会 ・後期レジナビ 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修指導医講習会 ・総合診療指導医養成事業 ・ドクターバンク ・女性医師サポート事業 ・産科医確保支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・定年退職医師活用事業

山形県医師確保対策の概要

医師確保対策に係る事業一覧（令和元年度）

項目		開始年度	予算額(千円)	事業概要
中長期	地域医療対策協議会【新規】	R1	6,888	医師派遣等について協議する会議経費 医師確保計画の策定経費（R1のみ）
	地域医療支援センター運営事業	H26	2,104	医師確保対策を総合的に実施する地域医療支援センターを県に設置し、併せて分室を山医学部に設置
	医師修学資金等貸付事業	◎ H17	238,833	県内医療機関での勤務を条件に、医学生に対し修学資金を貸与（新規枠29人、継続枠89人）
	ウェルカム山形推進事業	H16	2,434	県出身の県外大学医学生を対象に県の事業説明会等を開催しUターンを促進
	地域医療実習受入事業	H19	1,208	医学生の地域医療への関心を高めるため、地域の医療機関での実習を実施
	山医学部寄附講座設置事業	◎ H22	86,221	県内の医師確保・定着を促進するための調査研究等を行う寄附講座を山医学部に設置（次の2事業は寄附講座内の事業として実施）
	（地域連携医学教育プログラム推進事業）	◎ H23	↑	山医学部の卒前臨床実習の一部を地域の中核病院で実施するプログラムへの支援
	（医療体験セミナー開催事業）	◎ H23		高校1年生を対象に体験セミナーを開催し、医学部志望者の増加を図るもの
短期	研修病院ガイダンス	H16	1,884	医学生に県内臨床研修病院をPRし、県内への誘導を図るためのガイダンスを開催
	レジナビフェア	H20	5,313	医学生及び臨床研修医に県内研修病院をPRし県内への誘導を図るための全国規模のイベント（レジナビ東京、レジナビ仙台）に参加
	臨床研修医合同研修会	H29	395	臨床研修医に県内後期研修病院をPRし、併せて横の繋がりを強化するための研修会を開催
	臨床研修指導医講習会	H30	926	臨床経験年数7年以上の医師を対象とした指導医講習会を開催し、臨床研修医の指導医の養成を図るもの
	総合診療指導医確保対策支援事業	H30	1,150	「総合診療専門研修特任指導医講習会」に医師を派遣する医療機関に対する経費補助
	ドクターバンクの運営（国庫1/2）	H18	1,173	インターネットを利用して県内の病院等に勤務を希望する医師を登録し、紹介・斡旋を行うもの
	定年退職医師活用事業【新規】	R1	2,311	定年退職医師の再就職を促進し、医師不足病院の支援や在宅医療を担う医師を確保する

項目		開始年度	予算額(千円)	事業概要	
地域の医師確保	中長期	自治医科大学負担金	S47	131,491	自治医科大学の運営に係る負担金の拠出等
		地域医療従事医師確保修学資金説明会 ※予算30千円は医師修学資金等貸付事業に計上	H25		地域医療従事に係る制度の理解を深めるため説明会を開催
		地域医療研修会 ※予算441千円は医師修学資金等貸付事業に計上	H29		地域医療従事医師確保修学資金貸与医学生と自治医大卒医師等との合同地域医療研修会を開催
		地域連携医学教育プログラム推進事業《再掲》	◎		
		地域医療実習受入事業《再掲》			
	短期	代診医派遣支援事業（国庫1/2）	H22	3,393	地域の医療機関への医師派遣を行うへき地医療拠点病院に対する支援
		その他			
	その他	地域医療支援機構運営事業（国庫1/2）	H17	635	へき地医療支援の企画・調整を行う「山形県地域医療支援機構」の運営
		へき地診療所運営費補助事業（国庫10/10）	S37	15,625	へき地診療所（飛鳥診療所）の運営に対する補助
	勤務医の環境改善	女性医師サポート事業	H19	14,105	・女性医師の就業継続を総合的に支援する「女性医師支援ステーション」を運営 ・女性医師の就労環境改善に取り組む病院への支援
産科医等確保支援事業		H21	10,245	分娩手当を支給する医療機関に対する財政的支援	
計				526,334	

※◎は「山形方式・医師生涯サポートプログラム」対応事業